

福井県嶺南地域における高水温耐性マサバ養殖の事業化検討を推進
～研究成果を踏まえ、食味・品質面の検討フェーズへ～

2026年5月21日
関西電力株式会社
リージョナルフィッシュ株式会社
福井県
ふくい水産振興センター
高浜町

関西電力株式会社、リージョナルフィッシュ株式会社、福井県、ふくい水産振興センターは、2023年10月5日に締結した共同研究協定（[同日お知らせ済](#)）に基づき、福井県嶺南地域において「高水温耐性マサバ養殖プロジェクト」を推進してきました。

本プロジェクトは、海水温上昇等によりマサバの漁獲量の不安定化が懸念される地域課題の解決を目指し、高水温環境下でも安定的に生育可能なマサバの品種改良および生産に取り組むものです。これまでに、水温約30℃の環境下で通常のマサバと比較して生存率および成長率の向上を確認しています。（[2025年7月1日お知らせ済](#)）

その結果を踏まえ、この度、高浜町のご協力のもと、神野浦および日引沖において、生残性や成長性を検証する海面養殖実証を進めるとともに、地域資源を活用した仕上げ餌の検討を通じ、食味や品質面の方向性を確認する商品設計検討の段階に到達しました。なお、本検討にはヤンマーマルシェ株式会社のご協力をいただいております。

本成果は、地域課題を起点とした取組みが、研究段階から海面養殖実証を経て、商品設計検討の段階へとフェーズが進展した点で、事業化に向けた重要な節目となります。

本プロジェクトは、「福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議※」に基づく取組みの一環として推進しています。

今後も関係機関が連携し、ブランド魚創出および地域に根差した持続可能な水産事業の構築を進めてまいります。

※原子力発電所が立地する嶺南地域の持続的な発展を実現すべく「立地地域の将来像」について議論する場として立ち上げられたもの。

以 上